

路線バス（乗合バス）の上限運賃改定の申請について

平素より、弊社バスをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

川越観光自動車株式会社（本社所在地：埼玉県比企郡滑川町、社長：石井英俊）では、2026年3月23日に、国土交通省へ乗合バス運賃の上限運賃変更認可申請を行いました。

日頃よりご利用いただいているお客様には、事情をご賢察のうえご理解をいただきますよう、よろしく願い申しあげます。

1 申請理由

弊社は、安全安心な運行に努めたいと、路線網の拡充や利用者利便の向上を図って地域の発展に寄与して参りました。

しかしながら、この間、少子高齢化や人口減少、マイカー等との競合による利用者減少が続く、加えて、コロナ禍の影響によりリモートワークや在宅勤務等が増加して移動需要自体が低迷するとともに、深刻なバス運転士不足に対応するための人件費や燃料費、最も重要な安全対策である車両代替、環境対策等のコストが増加して、事業経営を大きく圧迫してきてきたため、2023年8月10日に埼玉県内において運賃改定を実施いたしました。

その後は、運賃改定による増収分を原資として運転士の待遇改善を実施し、新規採用と離職抑制に一定の効果を得ることができましたが、要員不足の抜本的解消には至っていないため、引き続き人材の確保が必要です。

厳しい事業環境においても、公共交通としての弊社バス事業を今後も安全かつ安定的に継続していく必要があると考え、そのための施策の一つとして、今般、上限運賃の変更認可申請をいたしました。

2 申請概要

- (1) 申請日 2026年3月23日（月）
- (2) 運賃改定実施予定日 2026年7月中（認可後決定）
- (3) 申請対象路線 弊社の全路線（高速バスとコミュニティバスを除く）
- (4) 上限運賃の平均改定率 申請（上限）運賃は、事業の経営に必要な原価に応じて算出される、バス事業者が収受してよいとされる運賃の上限額で、これについては20.12%ですが、実際に変更する実施運賃に関しては、多くの区間で上限運賃より低い13%程度の改定を予定しております。

(5) 現行・申請運賃比較表

	現行運賃	申請（上限）運賃※1	実施運賃（予定）※2
	現金・ICカード	現金・ICカード	現金・ICカード
初乗り運賃	200円	260円	220円
同 定期券 （通勤1か月）	9,000円	11,700円	9,900円

※1 申請（上限）運賃は、事業の経営に必要な原価に応じて算出される、バス事業者が収受してもよいとされる運賃の上限額です。

※2 実施運賃は、認可が得られた上限運賃の範囲内で実施する、実際にお客様から収受する運賃額です。

(6) 主要区間の運賃

区間	片道運賃		定期券（通勤一ヶ月）	
	現行運賃	実施運賃（予定）	現行	実施予定
	現金・IC	現金・IC		
高坂駅～松風台	210 円	240 円	9,450 円	10,800 円
東松山駅～いちごの里よしみ	310 円	350 円	13,950 円	15,750 円
高坂駅～鳩山ニュータウン	320 円	360 円	14,400 円	16,200 円

3 埼玉県内の収支状況及び輸送人員

		輸送人員	収支状況
2024 年度（申請実績年度）		5,194 千人	△95 百万円
2026 年度 （申請推定年度）※3	運賃改定前	4,959 千人	△235 百万円
	運賃改定後	4,763 千人	△98 百万円

※3 2026 年度運賃改定後の輸送人員、収支状況は申請上限運賃での推計値です。

4 これまでの経営合理化状況及び今後の取り組み

弊社では、これまでに不採算路線の再編や需要に合わせた輸送力見直しを行なうなど、事業運営の合理化を図るとともに、管理コストの削減やアイドリングストップによる燃料費削減等に努めてまいりました。

加えて、バス（車体）を活用した広告事業（ラッピングバス、外板・車内広告等）などにより関連収入の確保にも努めてまいりました。

今後も上記施策を継続しながら、需要に対応した運行ダイヤ見直しや業務の効率化等に取り組んだうえ、引き続き経営改善に努めてまいります。

5 安全対策に関する取り組み

弊社では、安全安心なバスを目指して安全最優先で事業に取り組んでいます。

バス事業の最大の使命は安全輸送であるという考えのもと、ハード・ソフトの両面から各方面で常に新しい取り組み方を考えて実践しており、今後も継続してまいります。

車両面では、ドライブレコーダーの設置を全車両に完了しており、乗り降りしやすい目的とともに乗降時の事故防止にも役立つノンステップバスのさらなる導入に向けて取り組んでいます。そのほか、ドライバー異常時対応システム（EDSS）搭載バス※4の導入など、最新技術についても積極的に取り入れています。

乗務員の安全教育についても、年間を通じて運転士・事務員の全員を対象に行なっており、外部講師を招いた特別安全教育を含めて定期的を実施しています。

また、健康起因の事故を防止するため、全従業員を対象として睡眠時無呼吸症候群（SAS）の検査や脳 MRI 健診も定期的を実施しています。

上記のとおり、安全対策には引き続き積極的に取り組んでまいります。

※4 走行中の運転士に異常が発生した際、運転席もしくは車内の非常用ブレーキスイッチを押すことで制動を開始し、速度を段階的に低下させて停止します。

6 サービス向上に関する取り組み

弊社では、利便性向上策としてノンステップバスやバスロケーションシステム（バス位置情報システム）を導入しているほか、朝日自動車グループ共通学生フリーパス（一年定期券・半

年定期券)や70歳以上の方を対象とした高齢者定期券(プレミアムパス70)などの高割引商品の発売、ご来店いただかなくてもスマートフォンから購入できるスマホ定期券、交通系ICカードの導入など、使いやすい身近なバスにするため、サービス向上に継続して取り組んでまいりました。

今後も、安全面や環境面で最新の技術を取り入れた新型ノンステップバスのさらなる導入をはじめ、見やすい車内案内表示機や聞きやすい音声合成放送装置など、さらに利用者にやさしいバスを目指して、引き続きサービス改善に努めてまいります。

また、お客様のニーズにお応えするため、利用しやすいダイヤ編成に取り組んでまいります。

お 問 合 せ 連 絡 先

川越観光自動車株式会社

(運輸部) TEL : 0493-56-2001

小川町2路線の輸送人員の推移

年度	みどりが丘線	小川パークヒル線
2014	241,408	152,444
2015	232,704	152,390
2016	216,636	144,808
2017	209,959	163,580
2018	202,361	163,125
2019	184,578	157,533
2020	132,221	114,370
2021	146,325	126,540
2022	151,557	137,185
2023	151,763	130,290
2024	150,268	128,541
2014－2024 (10年間)	△ 91,140 △ 37.8	△ 23,903 △ 15.7